



## クラウド活用入門編

# お客様がお持ちのデータを安全に保全しませんか？

「顧客情報を安全に保管したい」「オンプレミスでデータの持ち出しを不可にすると、生産性が問題」「ランサムウェア対策や DR (ディザスターリカバリー) 対策が心配」などのお悩みをお聞きしています。ランサムウェアはデータや PC を人質にとって身代金を要求するもので、DR 対策は自然災害やシステム障害など事業活動継続に支障が出る状況が発生したときを想定してシステム復旧における方法を検討しておくことです。安全なデータ保全の方法をご提案します。

## お客様の課題やユースケース

### Case アプリケーションデータやファイルサーバのバックアップ

#### 課題

業務サーバのバックアップデータをローカルディスクに取得しており、ハードウェアの故障などでデータが破損するリスクがある

#### 解決策

Amazon S3 と AWS Storage Gateway を利用して簡単にサーバの業務データをクラウドに保存することをご提案

## 特徴【お客様にとってのメリット】

- ① データを安全に保管 (DR 対策も可能)
- ② コスト削減
- ③ ペーパーレス (イメージデータの保管)

## お客様事例

「社員 5 名、IT 専任担当者不在の少数精鋭コンサルティング会社が重要な顧客情報を扱うファイルサーバを AWS に移行。社外から安全にアクセスできるようになり、働き方改革を実現」

株式会社資産科学研究所

相続承継、事業承継などの総合コンサルティング事業を展開する株式会社資産科学研究所

### お客様状況・課題

- ファイルサーバの社外利用による業務の効率化
- 情報セキュリティにおけるリスク軽減
- 働き方改革に向けた在宅ワーク環境の整備
- 震災・火事等により NAS 故障とデータ消失リスク

### AWS を選択した理由

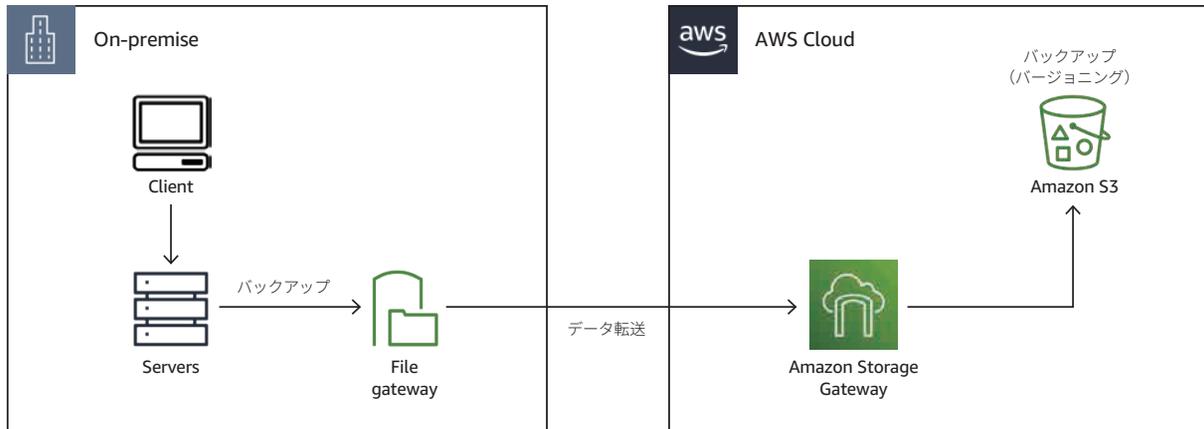
- 大企業や政府などの採用実績
- 顧客サービスへの姿勢 (サービス持続性、価格競争力など)
- 中小企業にも見合ったコスト、規模感

### 効果

- 場所を問わずタイムリーに顧客情報の閲覧や書類作成が可能に
- ライフサイクルや環境に応じた働き方の実現
- 新型コロナウイルス感染症のまん延時のスムーズな在宅ワークへのシフト
- 社内決済書類の完全ペーパーレス化、データ印の電子化
- 移動費用、印刷代、紙代などの削減
- 情報漏洩リスクの低減
- ハードウェア故障によるファイル損失リスクの低減
- メール、スケジュール管理、ビジネスチャット等の統合管理を検討

## AWSクラウド活用例

オンプレミスの環境に、NFS や Windows ファイル共有 (Server Message Block) でアクセス可能な File Gateway (仮想マシン) を配置し、サーバーからファイルをコピーすると、自動的に Amazon S3 にデータが転送されます。Amazon S3 は容量無制限でストレージ単価の安いバックアップに適したストレージサービスです。さらに Amazon S3 のバージョンング機能をご利用いただくことで、ランサムウェア対策にも有効です。



なお、Amazon S3 は最低 3 つのアベイラビリティゾーン (データセンター) にデータを冗長的に保存し、99.999999999% のデータ耐久性を提供しています。Amazon S3 にデータを保存するだけで、自然災害などの DR 対策としても有効です。

さらに、Amazon S3 にはライフサイクルやデータのアクセス頻度に応じて料金の異なる複数のストレージクラスを用意しています。これは簡単に言うと、あまりアクセスしないバックアップデータなどは、より安い単価でデータを保存することができるということです。標準の Amazon S3 Standard と最も安価な Glacier Deep Archive ではコストが 1/10 となりますので、是非、用途に応じてストレージクラスを使い分けることをお勧めします。

## Amazon S3 のストレージクラス

7 つのストレージクラスを用途に応じて使い分けることで、コストを最適化できる

	S3 Intelligent-Tiering	S3 Standard (S3 標準)	S3 Standard-IA (S3 標準 -IA)	S3 Glacier Instant Retrieval	S3 Glacier Flexible Retrieval	S3 Glacier Deep Archive	S3 One Zone-IA (S3 1ゾーン-IA)
AZ 配信	3つ以上のアベイラビリティゾーン (AZ)						1つのAZ
想定されるデータタイプ	アクセスパターンが変化するデータ	頻繁にアクセスされるアクティブデータ	アクセス頻度が低いデータ	めったにアクセスされないデータ	アーカイブデータ	長期保存のアーカイブデータ	再作成が容易でアクセス頻度が低いデータ
設計上の耐久性	99.999999999%						
レイテンシー	ミリ秒単位のアクセス	ミリ秒単位のアクセス	ミリ秒単位のアクセス	ミリ秒単位のアクセス	分から時間単位のアクセス (数分~12時間)	時間単位のアクセス (12~48時間)	ミリ秒単位のアクセス
ストレージ価格 (数分~12時間)	0,025~0,002	0,025~0,023	0,0138	0,005	0,0045	0,002	0,011

※ 価格は 2022 年 12 月の東京リージョンに基づく。リクエストなどに応じて別途課金。

## AWSクラウドの無料相談を受け付けています。

資料請求、お見積りのご相談、またお客様のユースケースにおける構築、AWS パートナー紹介に関するご相談は、お気軽に <https://go.aws/3xlbZhN> よりお問い合わせください。平日営業時間内に担当者よりご連絡いたします。チャットでもご相談いただけます。(平日 10:00~17:00 / 土日祝日除く)



アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社  
〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア  
<https://aws.amazon.com/jp/>

Copyright © 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。2023年3月現在の情報です。記載内容については変更の可能性があります。